

障がい児(者)に対する受容的態度 向上を目指す交流活動の実践研究

のぶ ひで
岩田 将英
(千葉県柏市立柏第一小学校 教諭)
臨床心理士・学校心理士・上級教育カウンセラー

問題の背景

- 共生社会の実現
健常児と障がい児が、ふれ合い、共に活動する機会が大切(文部科学省, 2008)
- 学校現場における交流活動の実際
ふれあうイベントが中心
健常児の受容的態度が必ずしも向上しない
(糠, 1999)

問題の背景

- 受容的態度形成に寄与する活動のポイント
健常児と障がい児の双方に「報償性(Winch, 1958)のある協同」(山内, 1996)
交流経験に「楽しさ」の体験, 「学び」の意識
(渡辺・植中, 2003)
実際の交流活動の効果研究ではない
日常で行われうる交流内容自体を評価した
研究が極めて少ない

研究の目的

- 健常児の受容的態度向上を目指すプログラムの作成と効果の検証
日常の学校現場における実施可能性
健常児と障がい児の双方にとって「報償性のある協同」

研究の方法

- 対象: 小学5年生37人(男子20, 女子17)
- 調査時期: 2009年5月~12月
- 交流内容: 特別支援学級の稲作をサポート
(社会科米作りの発展として)
除草作業(7月9日)
収穫作業(10月13日)
遊び活動(, の日時を含め随時)

交流内容の実際 除草作業

- はじめのあいさつ
- 活動グループの編成
特別支援学級児を1人ずつ通常学級の生活班(8班)に加える
- 作業
草抜き…**特支級児**: 草を抜く, **通常級児**: 雑草の場所を教える・手が届かない場所の草を抜く
草の回収…**特支級児**: 抜いた草を一輪車まで運ぶ, **通常級児**: 捨てる場所を教える・誘導する
草の運搬…**通常級児**: 一輪車でゴミ捨て場まで運ぶ
- おわりのあいさつ

交流内容の実際 収穫作業

- はじめのあいさつ
- 活動グループの編成(通常級生活班に特支級児を1人加え,全体を2つに分ける)
刈り取るグループ
縛って干すグループ
- 作業
刈り取る…**特支級児**:稲を刈り取る,**通常級児**:特支級児が稲を置いてくる間,交代で刈り取る
縛って干す…**特支級児**:稲を束ねて紐でしばる・壁にかけて干す,**通常級児**:補助をしながら同様の作業
- おわりのあいさつ

交流内容の実際 遊び活動

- 除草作業(7月9日), 収穫作業(10月13日)の後の休み時間に有志の子どもたちがグループで遊ぶ
- それ以外の日にも,休み時間に遊びに行ったり,昼食後の歯磨きを補助する児童(女子数名)が現われ,自主的な交流活動が行われた。

研究の方法

□ 効果の測定…質問紙法

- 【事前調査】2009年5月21日
交流経験の有無…5項目4件法(渡辺・植中, 2003)
受容的態度…13項目4件法(木船, 1986; 渡辺・植中, 2003)
- 【事後調査】2009年12月21日
受容的態度…13項目4件法(木船, 1986; 渡辺・植中, 2003)

質問紙の項目 (4:かなりあてはまる~1:まったくあてはまらない)

- 1 障がいのある人といっしょに遊んだことがある(直接的経験)
- 2 障がいのある人といっしょに勉強したことがある(直接的経験)
- 3 障がいのある人といっしょにかけたことがある(直接的経験)
- 4 障がいのある人についてテレビ,本,新聞,インターネットで見たり聞いたりしたことがある(間接的経験)
- 5 障がいのある人についてお父さんやお母さん,先生,友だちから聞いたことがある(間接的経験)
- 6 嫌がしをするのが多かった(TEG「L尺度」)
- 7 障がいのある人は私たちと同じくらい何でもできる(受容的態度「能力の評価」)
- 8 障がいのある人は自分から進んで何でもできる(受容的態度「能力の評価」)
- 9 障がいのある人に話しかけることができる(受容的態度「働きかけ」)
- 10 障がいのある人といっしょに遊びたい(受容的態度「性格の認知」)
- 11 障がいのある人と話すときどんな話をしたらいいかわからない(受容的態度「働きかけ」, 逆転項目)
- 12 障がいのある人を仲間はずれにしてはいけない(受容的態度「性格の認知」)
- 13 夢を見たことがない(TEG「L尺度」)
- 14 障がいのある人といっしょに協力していくことができる(受容的態度「働きかけ」)
- 15 障がいのある人といっしょにいたり話したりしているところを見られてもなんともない(受容的態度「働きかけ」)
- 16 障がいのある人は面白い(受容的態度「性格の認知」)
- 17 障がいのある人は色々なことを知りたいと思っている
- 18 かぜをひいたことがまったくない(TEG「L尺度」)
- 19 障がいのある人は一生けんめいがんばっていると思う(受容的態度「性格の認知」)
- 20 障がいのある人は相手のことをよく考える(受容的態度「性格の認知」)
- 21 障がいのある人はすずなあた(受容的態度「性格の認知」)

結果【事前調査】

- 障がい児との交流経験の有無
直接的経験…平均3割
一緒に遊んだ経験がある:17人(47.3%)
一緒に勉強した経験がある:12人(35.3%)
一緒にかけた経験がある:5人(13.9%)
間接的経験…平均5割強
障がいのある人についてテレビ等で見聞きした:24人(66.7%)
障がいのある人について親等から聞いた:18人(50.0%)

結果【事前調査】

- 交流経験の有無と受容的態度の相関($p < .01$)
直接的経験も間接的経験もある児童は,両方ともない児童に比べて,
障がいのある人の性格や特徴をよく知ってる
障がいのある人との関わり方を知っている
障がいのある人が持っている力を正当に評価している
(Kruskal Wallisの検定,多重比較としてMann-Whitneyの検定およびBonferroniの修正を用いた)

結果【事前調査】

- 交流経験の有無と受容的態度の相関 ($p < .01$)
間接的経験だけある児童は、直接的経験・間接的経験の両方がある児童に比べて、障がいのある人との関わり方を知らない

(Kruskal Wallisの検定, 多重比較としてMann-Whitneyの検定およびBonferroniの修正を用いた)

結果【事後調査】

表1 事前と事後の下部尺度得点の平均

	性格の認知	働きかけ	能力の評価
事前	3.33	2.83	2.67
事後	3.52 [†]	3.18 ^{**}	3.35 ^{***}

[†]: $p < .1$, ^{**}: $p < .01$, ^{***}: $p < .001$

「性格の認知」…障がいのある人の性格や特徴を理解
「働きかけ」…障がいのある人との関わり方を知っている
「能力の評価」…障がいのある人が持っている力を正当に評価
のすべてが有意に上昇している

考察

- 直接的な交流経験が受容的態度の向上に大きな影響を持つ
- 「報償性のある協同」に寄与した3要因
稲を育てるという共通の目的
社会科の学習の一環であるという位置づけ
…教科学習としての参加態度
特別支援学級の活動の場に迎え入れてもらう形
…健常児にとってほどよい緊張感
「遊び」ではなく、「学び」としての交流学習

引用・参考文献

- 木船憲幸 1986 精神薄弱児に対する普通児の態度と交流経験との関係 特殊教育学研究, 24, 11-19
- 糠明珊 1999 精神発達遅滞児に対する健常児のイメージ 統合教育経験の有無より 日本発達心理学会第10回大会発表論文集, 306
- 文部科学省 2008 交流及び共同学習ガイド
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/010/001.htm
- 渡辺弘純・植中慶子 2003 小学生の障害児(者)に対する態度に及ぼす交流経験の影響 愛媛大学教育学部紀要 教育科学 第49巻 第2号 15-30
- Winch, R.F. 1958 Mate-selection: A study of complementary needs. New York: Harper & Row.
- 山内隆久 1996 偏見解消の心理 対人接触による障害者の理解 ナカニシヤ出版

それぞれの質問（しつもん）について、
あなたにもっともあてはまる数字（1～4）に をつけてください。

ま
た
た
く
あ
て
は
ま
ら
な
い

あ
ま
り
あ
て
は
ま
ら
な
い

す
こ
し
あ
て
は
ま
る

か
な
り
あ
て
は
ま
る

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 障（しょう）がいのある人といっしょに遊んだことがある..... | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 障がいのある人といっしょに勉強したことがある..... | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 障がいのある人といっしょにでかけたことがある..... | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 障がいのある人についてテレビ，本，新聞，インターネットで
見たり聞いたりしたことがある..... | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5 障がいのある人についてお父さんやお母さん，先生，友だちから
聞いたことがある..... | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6 夜ふかしをすることがまったくない..... | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7 障がいのある人は私たちと同じくらい何でもできる..... | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8 障がいのある人は自分から進んで何でもできる..... | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 9 障がいのある人に話しかけることができる..... | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 10 障がいのある人といっしょに遊びたい..... | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 11 障がいのある人と話すときどんな話をしたらいいかわからない..... | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 12 障がいのある人を仲間はずれにしてはいけない..... | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 13 夢を見たことがない..... | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 14 障がいのある人といっしょに協力していくことができる..... | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 15 障がいのある人といっしょにいたり話したりしているところを見られても
なんともない..... | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 16 障がいのある人は明るい..... | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 17 障がいのある人は色々なことを知りたいと思っている..... | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 18 かぜをひいたことがまったくない..... | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 19 障がいのある人は一生けんめいがんばっていると思う..... | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 20 障がいのある人は相手のことをよく考える..... | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 21 障がいのある人はすなおだ..... | 4 | 3 | 2 | 1 |

以上でおわりです。どうもありがとうございました。